

鹿沼市議会 経世会

2023年2月19日発行
発行責任者 舘野 裕昭



昨年3月提出の会派要望に対し、それぞれに前向きな回答をいただきました。特に会派として継続的に要望してまいりました「こども医療費高校生まで無償化」につきましては、ついに本年4月に予算化が決定しました。
更に、昨年11月には16項目の要望を市長に提出しています。そちらの回答は、次号の会派広報誌でご報告できるかと思えます。
今後も多くの市民の皆様のご意見、ご要望を丁寧に市に届けられるよう、経世会一丸となって精進してまいります。



経世会代表
舘野 裕昭

1. 議員定数削減について、これまでの経緯をご報告します

- 令和元年12月「議会改革特別委員会」（議員の半数が所属する委員会）を設置。14回にわたる委員会で議論を重ねた結果、委員の中では議員定数は減らさず24名とする意見が多かったため、令和3年9月議会で現状維持の24名とする結果を報告。
- 令和4年1月に、自治会連合会提出の議員定数を20名とする陳情書が提出された。
- 令和4年3月議会で議会運営委員会に付託され、5月には陳情提出者との意見交換を実施。7月、9月に委員会を開催、慎重に審査をし、挙手採決した結果、賛成少数で不採択。

鹿沼市議会議員選挙

選挙執行年月日	定数(人)	立候補者(人)	人口(人)	有権者数(人)	投票率(%)
平成15年9月 7日	28	30	合併前@94,446	74,760	64.91%
平成19年9月 9日	28	29	104,057	83,918	62.85%
平成23年9月11日	26	29	102,269	83,427	58.94%
平成27年9月 6日	24	27	100,068	81,339	55.26%
令和 元年9月 1日	24	27	97,425	81,356	51.76%

※平成28年6月19日より、選挙権年齢が18歳以上に変更

※平成15年の人口は合併前のため栗野の人口は含まれません。

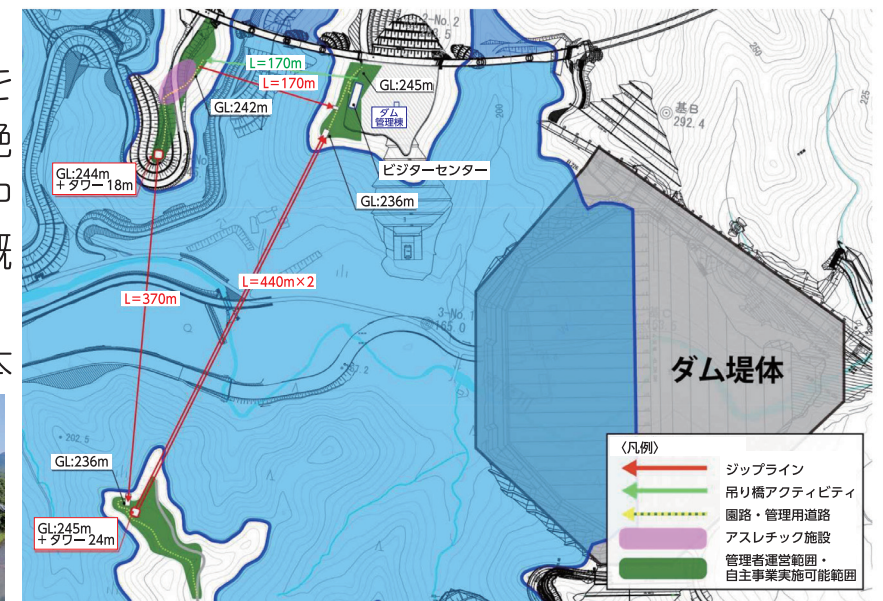
自治会連合会からの陳情は残念ながら不採択となってしまいましたが、私たち経世会は一貫して議員定数を20名に削減することを提唱しています。採決の結果は賛成10名、反対11名、不参加1名と非常に拮抗しており、少しずつ議会内の認識を変えていくことができていると自負しております。

2. 水と緑の南摩の里整備事業「県事業」に、絶叫系吊り橋アクティビティ施設が追加されました

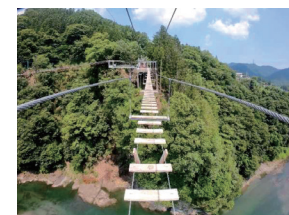
思川開発事業は、利根川水系渡良瀬川の支川思川の上流部南摩川に南摩ダムを建設し、効率的に水資源開発を行う事業で、洪水調整、流水の正常な機能の維持、水道用水の供給を目的としており、本県において、治水・利水上重要な施設となります。

前号の会派広報誌でお知らせしました南摩ダムの湖上空を滑走するジップライン(3本の合計は全長約1km)に加え、絶叫系吊り橋アクティビティ(全長170m)と、2つの平場間を空中移動しながら楽しめるアスレチック施設(1,500㎡)の施設概が公表されました。

いずれも県の事業ですが、令和7年のオープンに向けて、本市の新たな観光拠点となる南摩地区の活性化が期待されています。



引用: 栃木県HP



引用: グラビティパークHP

3. 令和5年度に計画されている主な普通建設事業概要

No.	事業名	概算事業費	備考
1	粗大ごみ処理施設機関改良工事(環境クリーンセンター)	7億7千万円	継続費(R4~R5)
2	水源地域振興拠点施設整備(南摩ダム関連事業)	14億6千万円	R6 オープン予定
3	学校施設設備等(西小・北中、北押原中・南押原中)	4億5千万円	
4	一般廃棄物最終処分場第二期埋立地造成工事(鹿沼フェニックス)	4億1千万円	継続費(R5~R6)
5	鹿沼インター産業団地整備	3億7千万円	県企業局負担金
6	晃望台幼稚園認定こども園化施設整備補助金	3億4千万円	補助金
7	ヤオハンいちごパーク陸上競技場全天候化改良工事	3億4千万円	
8	さつきが丘学童保育施設新築工事	2億円	
9	JR鹿沼駅東通り整備	2億2千万円	第2工区 ~R5
10	新庁舎整備事業(物品購入・移転費用等)	2億4千万円	

経世会「要望書」(令和4年3月提出)への市長からの回答要旨

一. こども医療費助成制度を高校3年生まで拡充すること

今年度、新たに県内全自治体の賛同を得て、市長会、町村会の統一要望として国県に対し、助成対象年齢拡大の要望を提出しました。国県の動向を踏まえ、引き続き制度の検討を続けてまいります。
→県の制度拡充にあわせ、本市では令和5年4月より助成対象年齢を「高校3年生相当年齢まで」引き上げ、現物給付方式により助成する準備を進めております。

一. 誰もが安心して遊ぶことができるユニバーサルデザインを取り入れたインクルーシブ公園を整備すること

鹿沼市公園施設長寿命化計画に基づく既存施設の遊具更新の際には、「インクルーシブ遊具」の導入を含めて検討を行うなど、すべての人にやさしい公園づくりに努めてまいります。

一. 地方創生拠点整備交付金を利用したハード事業を進め、ふるさと納税返礼品を充実し、納税の増収を図り、若者が移住定住したくなる環境整備を推進すること

ハード事業については、負の遺産にならないよう将来を見据えた整備を進めており、財源としては地方創生拠点整備交付金を積極的に活用しております。

ふるさと納税については、令和2年度は約8,788万、令和3年度には約3億7,970万と推移しており、4倍以上の実績となっております。寄附を受け付ける「ポータルサイト」を2社から4社に増やしたことや、好評をいただいていますゴルフクラブの種類を追加したことなどが大きな要因であり、更なる増収を目指してまいります。

移住定住人口の拡大には、移住者が何を求めているかを見極めるため、アンケート調査等を実施し、ニーズを把握し、施策の選択と集中を進めつつ、若者に限らず全ての世代の方が移住定住したくなるよう、積極的な事業展開を進めてまいります。

一. 自主防災会と、学校や企業各種団体と関係を深め、更なる地域防災の強化を図ること

自主防災会は、地域の防災活動を効果的に行うため、地域住民が主体的に活動を行っております。学校や企業などと連携している会もあり、市では活動を支援しております。今後もより一層関係を深め、地域防災力が強化されるよう、積極的に支援をしてまいります。

小島 実(4期)

住所：鹿沼市中栗野 136
TEL:0289-85-3227
FAX:0289-85-3927
鹿沼市議会副議長
産業建設常任委員会 委員



質問 豚熱対策対応について、感染予防及び感染措置について



答弁 竹澤経済部長(令和4年9月 第3回定例会)

野生イノシシへの対策としては、栃木県が主体となり、狩猟者への消毒機器及び消毒薬の無料配布を行っているほか、経口ワクチンの散布（置餌）、捕獲した野生イノシシの血液採取による感染状況の把握を行っております。
養豚農家は国の飼料衛生管理基準に基づき、**豚舎での消毒や防護柵の設置、害虫駆除**などを実施しており、費用は国県市の補助事業を活用したため、農家の負担はありません。
また、令和2年2月から県内で飼養されている豚に対し、豚熱ワクチン接種が義務化されています。



質問 リーバス利用者の更なる利便性向上について

答弁 福田市民部長(令和4年9月 第3回定例会)

コース変更については、鹿沼市公共交通計画に定めた目標の2「まちづくりと連動した中心市街地とその周辺の路線見直し、栗野地域のネットワーク化」の中で来年度見直しに取り組みます。具体的には、**まちなか3地区の路線調整を行い、利用者が少ない昼間時間帯の便を人口の多い東部台へコース見直しも含め検討**します。また、栗野地域と中心市街地とのバスネットワークを維持するために、**栗野地区を交通結節点とし、利用者の少ない時間帯のリーバス「上粕尾山の神線」と「入栗野上五月線」をデマンド運行に切り替えを検討**します。

舘野 裕昭(3期)

住所：鹿沼市北赤塚町 52-1
TEL:0289-75-2740
mail:minami@one.bc.9.jp
鹿沼市監査委員
総務常任委員会 委員



質問 国道293号榎木バイパスの事業再開とスマートインターチェンジの設置について



答弁 佐藤市長(令和4年6月 第2回定例会)

スマートインターチェンジの磯町への設置については、「磯町自治会」と地域若手の会「磯 GO!未来の会」からも要望を頂いております。本市では他の自治体の設置事例や事業化における手続きについて調査しているところで、**鹿沼ICと現在事業中の仮称「都賀西方スマートIC」の間隔が約12kmと長いことから、中間点に位置する磯町付近に設置することは本市の発展に取って大変望ましいと**考えております。
引き続き県を初め関係機関と連携しながら、事業化に向けた検討を進めてまいります。



質問 黒川エコ肥料の利用促進について

答弁 木村上下水道部長(令和4年 第2回定例会)

「黒川エコ肥料」とは、下水道処理施設から発生する汚泥の有効利用と減量化を目的に「脱水乾燥施設」で製造した乾燥汚泥のことで、令和2年11月に試験採取した肥料成分は窒素6%、リン酸4.1%、カリウム0.2%と、**農作物への効果は良好であると考えます。肥料高騰に伴い、農業従事者及び関係者向けに配布する**考えについてですが、利用量などの個別協議を行った上で可能であると考えています。また、水田に対する実証実験を行うことにつきましては、来年の稲植えをする前になるかと思いますが、実施に向けて農業公社と協議してまいります。

大貫 桂一(1期)

住所：鹿沼市加園 1026-1
TEL:0289-64-1172
mail:haruayu0609@yahoo.co.jp
総務常任委員会 副委員長



質問 現在造成中の産業団地完成後の次期計画について



答弁 佐藤市長(令和4年6月 第2回定例会)

第8次総合計画では、鹿沼インター産業団地の早期整備を目指すとともに、企業の立地ニーズに対応するため「**敵地の創出を検討する**」と記載し、企業誘致を継続して進めることとしています。一つの産業団地を造るには、場所の選定から用地買収等8~10年を要します。鹿沼インター産業団地の販売状況も踏まえ、予算措置も含めて検討してまいります。

令和4年第4回定例会で、来年度予算を計上し、あり方調査を実施するとの回答を頂きました。



質問 ふるさと納税の積極的な寄付者の獲得について

答弁 南雲総合政策部長(令和4年6月 第2回定例会)

新たな寄付者へのアプローチとしましては、例えば鹿沼出身者が経営する首都圏の企業や東京、関西の県人会向けにセールスを行うことや、リピーターの確保に向けた少額の寄付メニューの提案、年4回の定期便、**寄付金がどのように役立つ**ているか、イベント企画等もあわせて掲載したパンフレットを作成し、寄付品とともに送付することも検討してまいります。

経世会議員 市政一般質問



工事期間中、市民の皆様にはご不便をお掛けしたと思います。
お陰様で仮庁舎を建設することなく、本年5月には新庁舎が完全開庁となります。
今まで以上に丁寧な市民サービスが提供されるよう、市議会としてもチェック機能を果たしてまいります。

質問 保育園、学童施設、小中学校のエアコン整備について



答弁 黒川子ども未来部長・高橋教育次長(令和4年9月 第3回定例会)

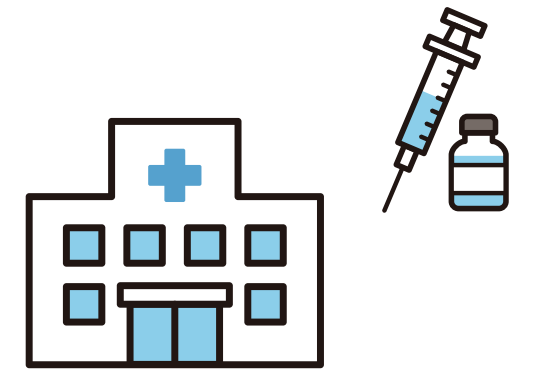
今回の保育園学童施設へのエアコン整備は、国の地方創生臨時交付金を活用し、夏や冬の時期でも室内温度を保ちつつ、**十分な換気ができるよう換気機能がある性能の高いエアコンを導入**することで空調環境の改善を図るものです。具体的には、こじか保育園、西保育園、南保育園、南摩保育園、津田小学童、西小学童、南押原学童に10月完了を目途に整備する計画です。
小中学校の普通教室のエアコン整備率は優100%ですが、**今後は使用頻度が高い中学校の特別教室から、夏休みなどの長期休業期間を活用し整備を進め、熱中症対策を初めとした教育環境の充実に努めて参ります。**

質問 こども医療費助成制度を高校3年生まで拡充する考えについて

答弁 佐藤市長(令和4年9月 第3回定例会)

来々4月診療分から、現在「中学3年生まで」の対象年齢を、「**高校3年生相当年齢まで**」に引き上げるとともに、全ての対象者において、県内の医療機関では窓口負担を求めない現物給付方式により助成できるよう準備を進めております。但し、県外の医療機関を受診した場合は窓口で一旦負担していただき、申請後助成される償還払いとなります。

令和4年12月議会で正式に高校3年生までの医療費無償化が決定致しました。



鈴木 紹平(1期)

住所：鹿沼市口栗野 962-1
TEL:0289-78-5784
mails:shohei148@outlook.jp
教育福祉常任委員会 委員長



令和3年9月議会定例会で質問しました、若年勤労者用住宅(栗野)の入居条件「夫婦ともに34歳以下」という年齢制限については、「**入居条件の緩和など、条例改正を検討してまいります**」との答弁でした。令和4年12月議会で議決し、令和5年4月からは、**年齢制限が「夫婦ともに40歳以下」、入居期間は「59歳に達する日の属する年度の末日まで」との内容に条例改正が決定しました。**

質問 公共施設等民間提案制度による、小中学校の照明LED化に係るESCO事業について



答弁 高橋教育次長(令和4年9月 第3回定例会)

ESCO事業は、省エネルギー改修に係る経費を、光熱費の削減分で賄う事業であり、学校の校舎や屋内運動場の照明器具をLED化することにより、**二酸化炭素排出量の削減を図り、地球温暖化防止に貢献する**ものであります。長寿命化改良事業の際に、LED照明を設置しており、校舎は北小学校のほか1校、屋内運動場は東小学校のほか6校で実施をいたしました。LED照明を設置していない学校のうち、**おおむね年間1,000時間以上の使用時間がある教室などを対象にLED化を進める**ものであり、**今年度下半期に着手し、令和5年度末に設置完了を見込んでおります。**

質問 旧栗野中学校の利活用について

答弁 佐藤市長(令和4年12月 第4回定例会)

木造校舎の旧栗野中学校は映画やTVドラマ、CMの撮影のほか、地域のイベント会場など多目的に利用されています。今後は文化芸術の発信拠点を目指し、**校舎東側の旧音楽室を早期に修繕し芸術家に開放する**ほか、芸術家と地域をつなぐ人材確保に着手してまいります。具体的には、**地域おこし協力隊の制度を活用し、市外から意欲ある地域の芸術活動を支援できる芸術家の人材を募集し、地域と芸術家の交流の輪を市内外に広げていきたい**と考えております。

